

# 平成28年度一般会計・7特別会計決算 **認定**

昨年度も市では、多くの事業が展開されました。事業を行うには、国や県からの交付金のほか、市民の皆さんから納められた大切な税金が使われています。そのお金が適正かつ有効に活用されたかを議会で審議し、全ての決算を認定しました。本会議の討論の様子をお伝えします。

平成28年度決算概要 (千円以下は切り捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	主な歳出内容
一 般	383億 6,297万円	373億 8,309万円	定住化促進住宅補助(住ま入る支援プラン)、子育てコーディネーター・保育コンシェルジュ配置、(仮称)取手東部保育所及び子育て支援センター基本設計、藤代駅北口交通広場整備実施設計
取手駅西口都市整備事業	12億 2,766万円	11億 8,417万円	西部地区造成工事、既存建築物移転補償
用地先行取得事業	1億 1,392万円	1億 1,392万円	取手駅東口多目的広場整備事業の償還金
国民健康保険事業	149億 5,285万円	137億 7,204万円	保険給付費、共同事業拠出金
後期高齢者医療	22億 6,725万円	22億 5,798万円	後期高齢者医療広域連合交付金
介護保険	79億 5,138万円	74億 2,772万円	居宅介護・施設介護サービス給付費
競輪事業	9億 8,603万円	9億 3,979万円	競輪事業積立金、一般会計繰出金
地方公平委員会	74万円	52万円	委員報酬、負担金

## 政策提言

(前ページからの続き)

3日目の最終日は、2日目に作成した決議案(骨格)を基に竹原副委員長が、市長をはじめ各部長に対し、代表総括質疑を行い、決議案の修正が必要か議論しました。その後、決算認定案の採決を行い、平成28年度一般会計決算に関する決議案を委員会提出議案として全委員賛成で決定し、議長に提出しました。

## 代表総括質疑の内容

**竹原副委員長**：各部の事業における取手の魅力は何か。  
**各部長の答え**▽安全安心な町づくり▽芸術活動の盛んな町▽安定財源である固定資産税等の確保▽地域福祉を協働で行う市民力▽市民力を生かした健康づくり▽多様な仕掛けを講じている産業面と環境保全▽取手緑地運動公園の河川空間▽取手駅西口・桑原開発推進が今後、魅力を向上させる▽教育環境のさらなる充実▽

**消防署の有効配置による消防活動の提供**  
**問**：魅力発信のための各課の連携は。  
**市長**：歴史も自然もある取手市を市民一人一人が誇りを持ち、自身の役割を喜んで発揮していただけるような町にすることが大事。  
**政策推進部長**：各担当部以外からの視点を交えた政策的な見地から協議検討を行っている。日ごろから連携を大切に行っているが、外部に見えていないのが課題。

## 一般会計決算

**佐藤(隆)議員**：平成28年度の事業は、第六次総合計画に掲げる少子高齢化社会への対応、活力創出の実現に資するもの。予算が適正に執行されている。賛成。  
**齋藤議員**：今後も財政状況が厳しい中の運営が続くが、市の持っているポテンシャルを生かした施策を庁内一体となって展開してもらいたい。賛成。  
**関戸議員**：市民が住みよい町と思わなければ人口減少を食い止められない。地方自治体の本旨は住民の暮らしと健康増進。28年度の事業は程遠い。反対。  
**吉田議員**：消防車両更新、通学路整備、雨水排水対策等、市民の安全安心に関する事業で評価できる。賛成。  
**岩澤議員**：歳入が厳しい状況にある中、市民にとって有意義な財源配分であり、重点施策の事業が多く効果的に展開された。賛成。  
**池田議員**：多くの市民団体が世代交代が進まず活動が続けられるか不安な状況だが、今後も市民協働事業に力を入れてほしい。賛成。

## 七つの特別会計決算

◆**取手駅西口都市整備事業**  
**加増議員**：市民要望の高い



取手駅西口交通広場

◆**国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業**  
**小池議員**：国保税は引き下げを求める。後期高齢者医療制度は負担増と差別医療を押し付けるもの。介護保険の減免制度拡充を求める。いずれも反対。



来場者でにぎわう取手競輪場(今年2月に開催された読売新聞社杯全日本選抜競輪)

◆**競輪事業**  
**加増議員**：戦後復興策として、刑法で禁止された賭博を法に基づき自治体財政に寄与するために始まったもの。役割は終わった。反対。  
**染谷議員**：今年2月の大きなレースでは2万人以上の来場者があり可能性を示した。再来年には国体で自転車競技が開催される。賛成。  
**細谷議員**：加増議員の討論にある「賭博」、「子どもの健全育成へ影響」、「わずかな繰出金」という発言は語弊がある。加増議員に反論。  
**加増議員**：撤退を視野に入れば県と協議すべき。繰出金も以前に比べれば大きく減り、競輪事業に頼る時代ではない。細谷議員に反論。